

カルチュラル・スタディーズ学会 第5期幹事会 第1回幹事会 議事録

日時：2020年9月24日18:00~20:30

場所：Zoomにて開催

議事録作成者：荒井

出席者（敬称略）：井上、大山、ケイン、藤田、毛利、村田、山本、大石、稲垣、竹崎、荒井

1. 今後の幹事会の開催

・幹事会は会則に従い、年4回（オンラインを含む）開催する。それに加え、メールでの審議を行う。

2. 総務会計関連

①SMOOSYの導入状況

- ・会員管理システム SMOOSY の導入にともない、8月より会員データの移行を進行中である。
- ・システムの本格的な導入に際し、今後詳細を検討し、会員からの協力を求めることとする。

②SMOOSY 導入にともなう会員種別の名称変更

- ・個人会員A（年会費 10,000 円）大学あるいは研究機関等に常勤（任期付含む）で勤務し、かつ会費を所属組織の経費として申請できる者。
- ・個人会員B（年会費 6,000 円）大学あるいは研究機関等に非常勤で勤務している者、あるいは会費を所属組織の経費として申請できない者。
- ・個人会員C（年会費 4,000 円）会則第4条に定める学生、非正規雇用の形態で就労している労働者、および大学あるいは研究機関等を定年退職した者（あるいは70才以上の者）。

3. 委員会・会員について

①委員会、委員の委嘱

- ・研究企画委員会 Martin Roth 氏（マーティン・ロート）、Yukei Tse 氏（シャ・ユーケイ）、ケイン 樹里安氏（広報担当幹事との兼務）、荒井 悠介（総務会計委員との兼務）
- ・大会委員会 竹崎 一真氏
- ・編集委員会 秦 かおり氏、挽地 康彦氏、高原 幸子氏
- ・総務会計委員会 大石 茜氏、田中 東子氏、近藤 和都氏、荒井 悠介
- ・・・以上の者が委員として推薦され、委嘱が承認された。

② 広報委員会の設置

- ・次回総会にて、必要に応じた委員会の立ち上げに関して、会則の変更を提案することとする。
- ・また、会則変更することを前提に、幹事会は広報委員会の設置を承認した。（なお、広報委員会の委員選出は今後行う）

③ 学会入会申請者

- ・個人会員 12 名、学生会員 14 名の入会申請を受け、全員承認された。

4. カルチュラル・タイフーン 2021

① 会場の場所

- ・現地とオンラインのハイブリッド型の開催を検討する。
- ・メインスペースの候補地として、金沢 21 世紀美術館（シアター21）。
- ・サブの会場候補地として、しいのき迎賓館、石川四高記念文化交流館、金沢歌劇場
- ・・・・以上の場所を検討する。

② Call for Papers の時期

- ・新型コロナウイルスの影響を考慮し、Call for papers の時期を例年より遅らせ、12 月に予定する。（スケジュールは周知する）

③ 運営

- ・大会がオンライン形式となった場合も、参加者の会費の支払いは必要となる。
- ・配信及び、機材、設置は本人に任せることとする。

④ 大会テーマ案

- ・「The “Back” Strikes Back」 (仮)
- ・カルタイ初となる日本海側（裏日本）開催ということを、意識したものにする。

5. 今年度開催のオンライン大会について

① オンライン配信発表のルール

- ・オーディエンスは基本的に会員とする。
- ・登壇者は会員以外のオーディエンスを招致できるものとする。
- ・発表内容のソーシャルメディアへの掲載は、会員および、登壇者が招致した非会員ともに、禁止する。

②大会発表申し込みについて

- ・発表申込書を審査の上、選考の結果 25 名の発表者を決定した。
- ・発表形式は一人あたり、15 分の発表と 10 分のディスカッションを予定、1 枠 90 分を目安にし、各 3 名発表することとする。
- ・発表者の入金締め切り日は 10 月 14 日とする。
- ・10 月 20 日にプログラムの発表予定である。（シンポジウムに関しては、シンポジウム開催予定である旨とタイトルを発表する。）

③大会の役割分担

- ・パネルは村田幹事が担当する。
- ・シンポジウムは毛利代表幹事、山本幹事が担当する。